

06 | 国際協調

食品安全委員会は、海外のリスク評価機関と定期的に会合を持つなど積極的に連携強化に取り組み、最新の情報と意見の交換等を行っています。

国際機関の専門家会合への参加

新型コロナウイルス感染症の影響により、国際会議等についてはオンラインで開催されました。下記の会議等について、委員、専門委員又は事務局職員が参加し、各国の専門家との情報・意見交換等を行いました。

5月 | FAO/WHO合同残留農薬専門家会議(Extra JMPR)

6月 | EFSAアレルゲン性評価に関するオンラインワークショップ

7月 | 第36回経済開発協力機構(OECD)農業作業部会

7月 | 2021食品安全に関する国際食品保全学会

8月 | 第11回生命科学における動物実験代替法に関する国際会議

10月 | レギュラトリーサイエンスに関する国際会議(GSRS)2021

10月 | EFSA複合ばく露のリスク評価に関するオンライン国際ワークショップ

3月 | 食品安全委員会と欧州食品安全機関との第7回定期会合

3月 | 第3回国際食品機関長フォーラム(IHFAF)

コーデックス委員会

7月 | 第25回コーデックス食品残留動物用医薬品部会CCRVDf

9月 | 第52回コーデックス食品添加物部会CCFA

9月 | 第46回コーデックス食品表示部会CCFL

10月 | 第8回コーデックス薬剤耐性に関する特別部会TFAMR

3月 | 第52回コーデックス食品衛生部会CCFH

欧州食品安全機関との第7回定期会合の開催

2022年3月15日、欧州食品安全機関(EFSA: European Food Safety Authority)と第7回定期会合をオンラインで開催しました。

この定期会合は、2009年に食品安全委員会とEFSAが協力文書(MOC: Memorandum of Cooperation)を締結して以降、日本と欧州において交互に開催しているものです。

今回の会合では、食品安全委員会及びEFSAともに設立して20年を迎える中、両組織のリスク評価及びリスクコミュニケーションにおける近年の活動や今後の課題などについて意見交換し、リスク評価等の複雑化・高度化などによる課題に対する認識を共有しました。

これらの課題に対応していくため、山本 茂貴 食品安全委員会委員長とベルンハルト・ウル 欧州食品安全機関長官は以下のことに合意しました。



1. 食品安全関係者の連携・協力体制を更に進めていくこと。
2. 食品安全のリスク評価及びリスクコミュニケーションに関する技術的会議を開催すること。

英文電子ジャーナル「Food Safety」を発行

食品安全委員会は、四半期毎に、英文電子ジャーナル「Food Safety」を発行しています。こちらには、食品安全に関する各種論文や、食品安全委員会が取りまとめた食品健康影響評価の内容等を掲載しています。

英文電子ジャーナル「Food Safety」

http://www.fsc.go.jp/food_Safety_official_journal.html

